

献血推進の施策について（厚生労働省の取組）

1. 普及啓発

（1）若年層に対する普及啓発

①中学生への普及啓発

献血への理解を促すことを目的としたポスターを全国の中学校に配布

- ・平成28年度：11,347校に3.4万枚を配布
- ・平成29年度：11,255校に3.4万枚を配布
- ・平成30年度：11,269校に3.4万枚を配布

②高校生への普及啓発

ア 献血に関する副読本（けんけつ HOP STEP JUMP）を全国の高校に配布

- ・平成28年度：6,381校に生徒用117万部、教員用6.4万部を配布
- ・平成29年度：6,384校に生徒用118万部、教員用6.4万部を配布
- ・平成30年度：6,383校に生徒用117万部、教員用6.4万部を配布

イ 高等学校等における献血に触れあう機会の受入れの推進

平成23年度から毎年度、文部科学省の協力を得て、高等学校等における献血に触れ合う機会の一環として、日本赤十字社が実施している学校献血や献血セミナーを積極的に受けいれてもらえるよう、高等学校等関係者に協力を依頼している。

③大学生等への普及啓発

平成30年度に新たな取組として、大学、短期大学、専門学校等に献血の啓発ポスターを配布

- ・平成30年度：5,452校に2.4万部を配布

④主に10代、20代の若年層を対象とした普及啓発

ア 「はたちの献血」キャンペーン（毎年1～2月）の広報用ポスターを都道府県及び関係団体等に配布

- ・平成28年度：4.2万枚を配布
- ・平成29年度：4.3万枚を配布
- ・平成30年度：4.3万枚を配布

イ 平成30年度に新たな取組として、若年層向けの献血啓発映像を作成

（2）その他の普及啓発

①「愛の血液助け合い運動」（毎年7月）の実施

ア 広報用ポスターを都道府県及び関係団体等に配布

- ・平成28年度：3.9万枚を配布
- ・平成29年度：4.0万枚を配布

- ・平成30年度：3.9万枚を配布
- ・令和元年度：3.9万枚を配布

イ 献血運動推進全国大会の開催

- ・平成28年度：7月7日 東京都で開催
- ・平成29年度：7月12日 秋田県で開催
- ・平成30年度：豪雨の影響により中止（7月12日 岡山県で開催を予定していた）
- ・令和元年度：7月11日 石川県で開催

②テレビ、ラジオ、新聞等を積極的に活用した普及啓発の実施

- ・平成28年度：政府広報オンライン、ラジオ、インターネットテキスト広告、新聞、厚生労働省広報誌「厚生労働」、Twitter、
- ・平成29年度：政府広報オンライン、ラジオ、インターネットテキスト広告、新聞、厚生労働省広報誌「厚生労働」、Twitter、Facebook
- ・平成30年度：政府広報オンライン、ラジオ、インターネットテキスト広告、新聞、厚生労働省広報誌「厚生労働」、Twitter、Facebook

2. 若年層の献血者数の増加に向けた取組

将来にわたり安定的に血液を確保するため、平成29年度から、日本赤十字社及び都道府県と協力の上、献血者数が減少傾向にある10代から30代の年代別献血者数の目標値を設定し、若年層の献血者数の増加に向けた取組を実施している。

		10代	20代	30代
平成29年度	実績	257,958人	738,937人	841,869人
平成30年度	目標(計画)	260,278人	792,795人	901,606人
	実績	266,121人	717,573人	810,122人
対29年度実績比		103.2%	97.1%	96.2%
対30年度目標比		102.2%	90.5%	89.9%

(参考) 延べ献血者数に占める割合

	10代	20代	30代	40代	50代・60代	延べ献血者数
昭和60年度	20.3%	30.3%	23.8%	16.2%	9.3%	8,763,037
平成元年度	18.0%	28.5%	22.6%	19.1%	11.8%	7,765,013
平成5年度	16.1%	30.5%	21.2%	19.0%	13.3%	7,138,298
平成10年度	11.0%	32.6%	22.8%	18.7%	15.0%	6,136,449
平成15年度	8.9%	26.1%	26.3%	19.4%	19.2%	5,606,457
平成20年度	5.9%	22.3%	27.3%	23.3%	21.2%	5,137,612
平成25年度	5.9%	18.3%	21.7%	28.1%	26.0%	5,156,325
平成30年度	5.6%	15.2%	17.1%	28.1%	34.0%	4,735,944